

社会情勢に合わせた多種多様な職業訓練

受刑者が出所後に就労につながるための知識、技能習得を目的とした職業訓練を実施しています。

専門的な業種への就労を見据えた資格取得を行う訓練だけでなく、社会全体で取り組むべき環境課題解決や地域貢献活動に取り組む内容をカリキュラムに組み入れた訓練など多様な訓練を実施しています。

●介護エステケア科（笠松刑務所）

介護職への就労を想定し、高齢者施設で必要とされる専門知識の習得やコミュニケーションの講義、ハンドケア、メイク及びネイルケアについて実習形式で学び、専門技術の習得を目指す訓練です。



介護エステケア科 ハンドケアイメージ

●農業科（喜連川社会復帰促進センター）

農業に関する技能を習得する訓練です。技能の習得だけでなく“SDGs”や“サステイナブル”など社会全体で取り組む環境課題について、鬼怒川流域の在来種保全などの活動を通じて学ぶ内容を取り入れています。



農業科（在来種保全の写真）

●販売戦略科（美祢社会復帰促進センター）

広告制作の流れを学びながら地元特産品の魅力を伝えるポスター制作を行い、地域貢献活動を通じた自己効力感等の醸成を目的とした訓練です。制作したポスターは実際に市の広報に活用されています。



販売戦略科制作ポスター